

備中倉敷学20周年記念シンポジウム

大原家の社会貢献

「備中・倉敷地方の歴史と文化を学び、文化的向上を資する会」として2005年10月に発足した備中倉敷学は今年20周年を迎えました。講演会も来年2月には200回を数えます。これも会員及び会を支援してくださる方々のお陰と感謝の次第です。これを記念して下記の要領で20周年記念シンポジウムを開催します。

日時：2026年2月12日（木）午後2時から4時30分

会場：倉敷公民館 大ホール 聴講無料 定員100名

内容：「大原孫三郎の葬儀」動画（公益財団法人有隣会提供）上映 20分
解説 村田隆禪（観龍寺住職・当会会長）

記念講演（講師・演題）

山本太郎（倉敷市総務課歴史資料整備室・当会顧問）25分
『歴代大原家の当主』

木村昌人（芳井町まちづくり協議会「風を編む会」顧問）30分
『パトロンとしての渋沢栄一、敬三と大原孫三郎、總一郎の比較』

水島博（公益財団法人有隣会）15分
『語らい座 大原本邸（国指定重要文化財 旧大原家住宅）について』

休憩 10分

シンポジウムと質疑応答 50分
司会 木村昌人

主催：備中倉敷学 共催：倉敷公民館

お問い合わせ：備中倉敷学事務局

担当：鎌田栄治 090-3177-1436

info@kurashikigaku.com